



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●ストッパーは必ず取付けてください。把手と召内框やクレセントに手を挟んでケガをするおそれがあります。

■取付け上のおお願い

●把手・ストッパーは、必ず障子の外れ止め・クレセント・クレセント受け・戸車を調整した後に取付けてください。先に取付けると、外れ止め・クレセント受けの調整は、把手・ストッパーを外さない限りできなくなります。

●必ず指定のねじで取付けてください。

●障子運搬時には、把手を持って運ばないでください。把手が壊れたり框が変形するおそれがあります。

●図中の記号は、別紙（各商品に同梱）の「部品一覧表」をご参照ください。

■代表商品名一覧表

※本説明書では、以降商品名は特に記載のない限り、下表の代表商品名で記載します。

代表商品名	対象商品名
シンフォニーW/M	シンフォニーウッディ/マイルド・デュオマイルド
デュオPG/SG	デュオPG/SG
アトモスⅡ	アトモスⅡ・アトモス
サーマルⅡ	サーマルⅡ・サーマルPG
シンフォニー	シンフォニー
サーマル	サーマル

■取付け順序

1 事前準備

【施工時に必要な工具】

●施工時に以下の工具が必要になりますので、事前に準備してください。

- ・スケール
- ・かね尺
- ・電気ドリル、電動ドライバー
- ・ドライバー
- ・ドリル刃（φ4.0、φ4.5、φ5.5、φ10、φ13）
- ・ホールソーφ20
- ・カッター

※ドリル刃φ10、ホールソーφ20は、シンフォニーW/M・シンフォニーにのみ使用します。

●障子の外れ止め・クレセント・クレセント受け・戸車の調整は、事前に行っておいてください。

●把手を取付けるサッシにより取付け方が異なります。サッシの種類を確認してください。

2 把手の取付け位置決め・穴あけ

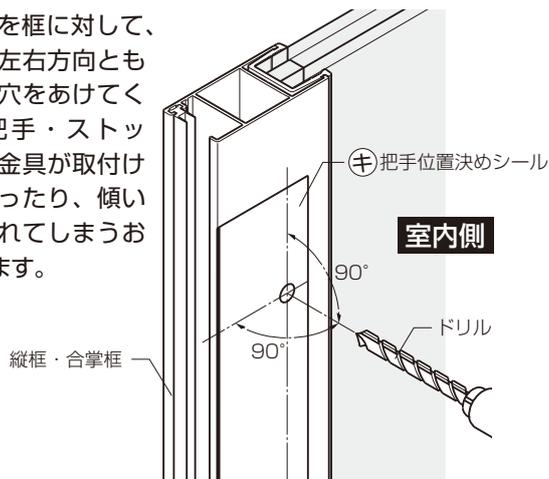
● 把手位置決めシールを框に張付け、貫通穴をあけます。
 ※ 2枚建の場合、4枚建合掌框用把手位置決めシールは使用しません。

● 商品によって、把手の取付け位置決め・穴あけの作業が異なりますので、以下のページをご覧ください。

- ・デュオPG/SG、アトモスII、サーマルII…2、3ページ
- ・シンフォニーW/M、シンフォニー…3、4ページ
- ・サーマル…5、6ページ

お願い

※ ドリルの刃を框に対して、上下方向・左右方向とも垂直にして穴をあけてください。把手・ストッパー・室外金具が取付けられなくなったり、傾いて取付けられてしまうおそれがあります。



【デュオPG/SG、アトモスII、サーマルII】

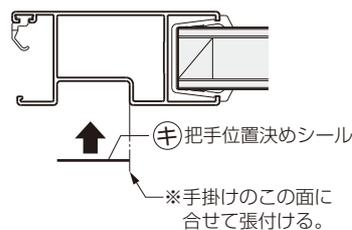
① 把手位置決めシールを、縦框（4枚建の場合は合掌框も）の室内面に下図のように張付けます。

※ 高さ位置は、床面より位置決めシール中心まで900±100mm程度が目安です。ただし、框の室内外面に引手部品が付いている場合や、障子・網戸に中棧が付いている場合、引手や中棧と位置決めシールが重ならない位置に張付けてください。

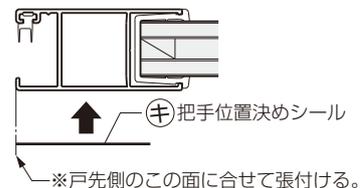
※ 左右位置は、シールに印刷されているラインと障子を合せて、すき間が出ないように張付けてください。（右図「位置決めシール張付け位置」参照）

■ 位置決めシール張付け基準位置

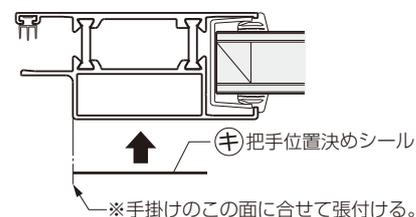
● デュオPG/SG縦框



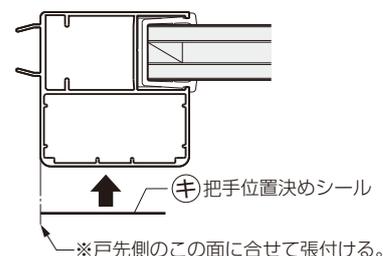
● アトモスII 縦框



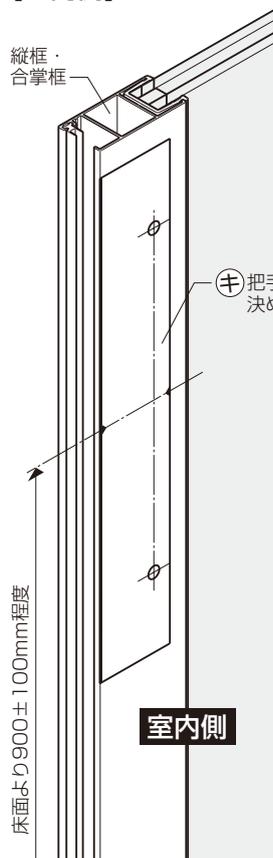
● サーマルII 縦框



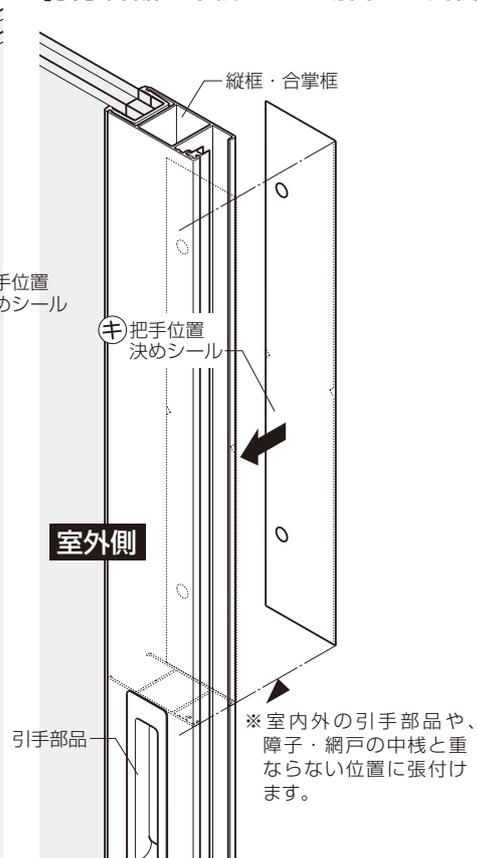
● 全商品 合掌框（4枚建のみ）



【室内側】



【引手部品・中棧がある場合/室外側】



② 把手位置決めシールに印刷されている穴位置中心に合わせてポンチを打ち、框に室内側からφ5.5のドリルで穴をあけて、框を室外側まで貫通させます。（右図参照）

③ 室外面まで穴が貫通していることを確認します。

④ ②であけた穴の、室外面のアルミ型材一枚（穴あけ深さ2mm）だけ、φ13のドリルで穴を広げてください。

お願い

※ φ13の穴あけは室外面のアルミ型材一枚だけとし、穴あけ深さは2mm以内としてください。穴あけ深さが大きすぎると、ドリル刃がガラスに当たり、ガラスが割れるおそれがあります。

⑤ 室内面に張った位置決めシールをはがしてください。

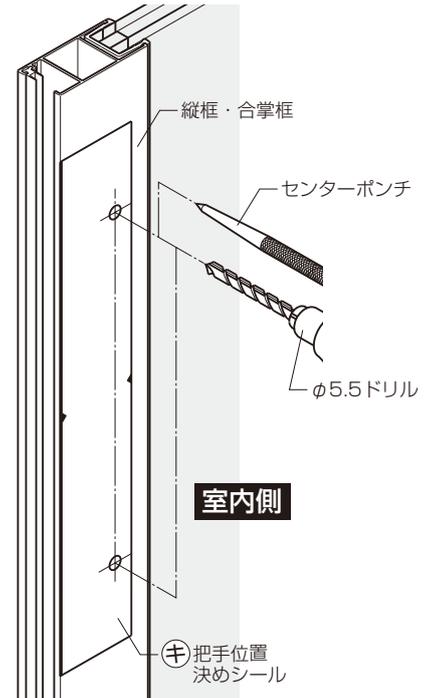
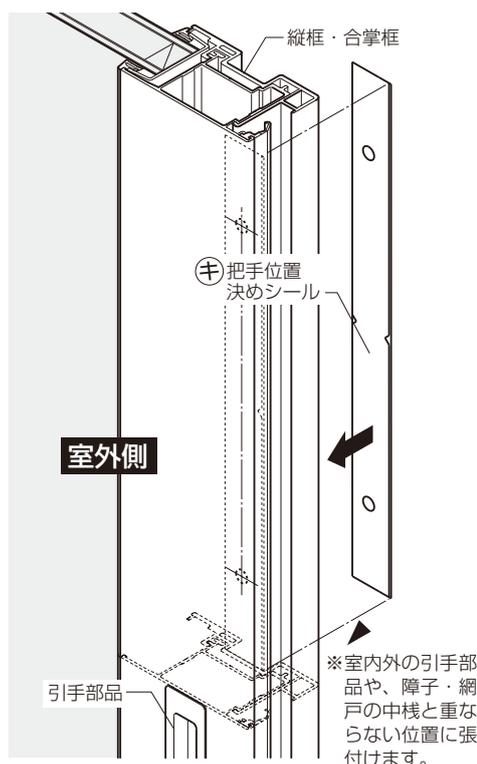
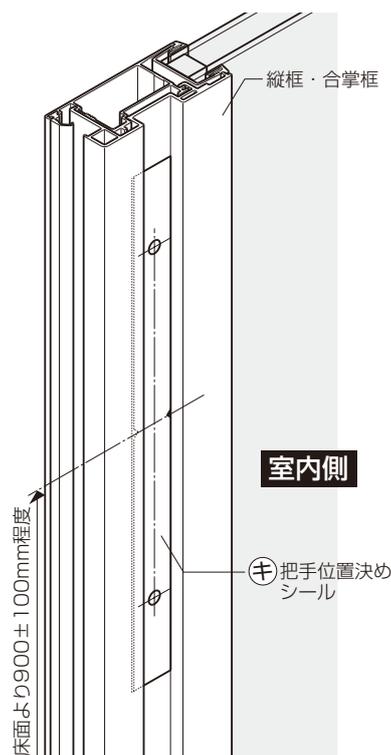
【シンフォニーW/M、シンフォニー】

① 把手位置決めシールを、縦框（4枚建の場合は合掌框も）の室内面に下図のように張付けます。

※ 高さ位置は、床面より位置決めシール中心まで900±100mm程度が目安です。ただし、框の室内外面に引手部品が付いている場合や、障子・網戸に中棧が付いている場合、引手や中棧と位置決めシールが重ならない位置に張付けてください。
 ※ 左右位置は、シールに印刷されているラインと障子を合わせて、すき間が出ないように張付けてください。（右図「**位置決めシール張付け位置**」参照）

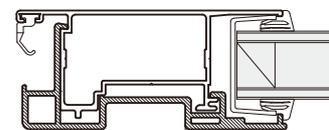
【室内側】

【引手部品・中棧がある場合／室外側】



位置決めシール張付け基準位置

● シンフォニーW/M 外障子縦框、シンフォニー縦框



↑ ⊕ 把手位置決めシール

※ 手掛けのこの面に合わせて張付ける。

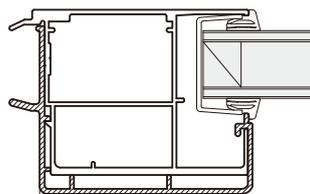
● シンフォニーW/M 内障子縦框



↑ ⊕ 把手位置決めシール

※ 手掛けのこの面に合わせて張付ける。

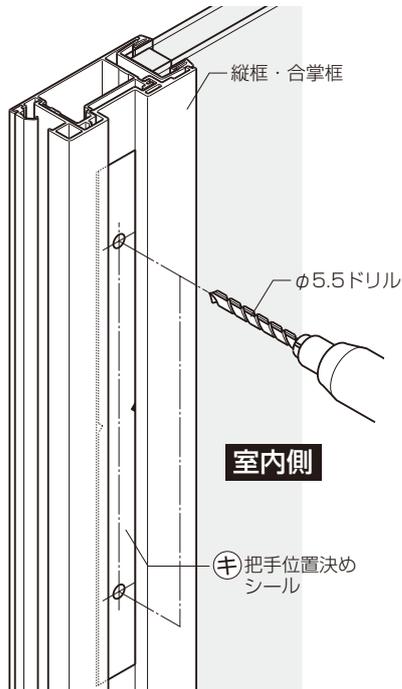
● 全商品 合掌框（4枚建のみ）



↑ ⊕ 把手位置決めシール

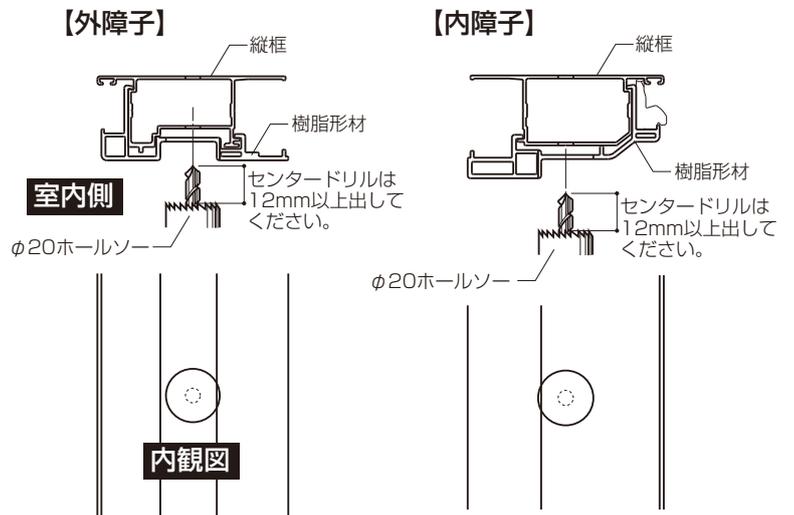
※ 戸先側のこの面に合わせて張付ける。

② 把手位置決めシールに印刷されている穴位置中心に合わせて、框に室内側から $\phi 5.5$ のドリルで穴をあけて、框を室外側まで貫通させます。

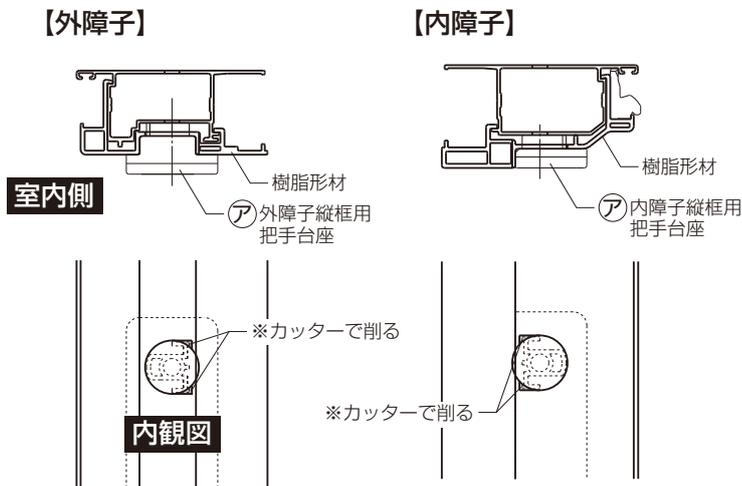


③ 室内側の樹脂形材1枚だけ、 $\phi 20$ で2つの穴を広げてください。

お願い
※ $\phi 20$ ホールソーでの穴あけは樹脂形材が割れないように、あまり回転数を上げずにあけてください。

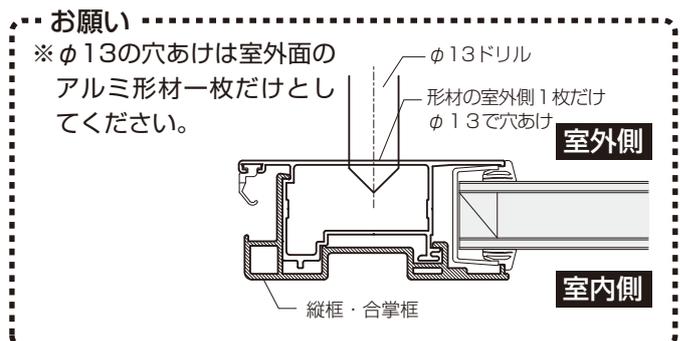


④ 把手台座を $\phi 20$ であけた穴の個所に当て、台座の突起部が樹脂形材と干渉している部分をカッターで削ります。



⑤ ②であけた穴の、室外面のアルミ形材一枚(穴あけ深さ2mm)だけ、 $\phi 13$ のドリルで穴を広げてください。

⑥ 室内面に張った位置決めシールをはがしてください。



【サマール】

■縦框

①縦框用台座を、框室内面の手掛け用のミゾに当てます。

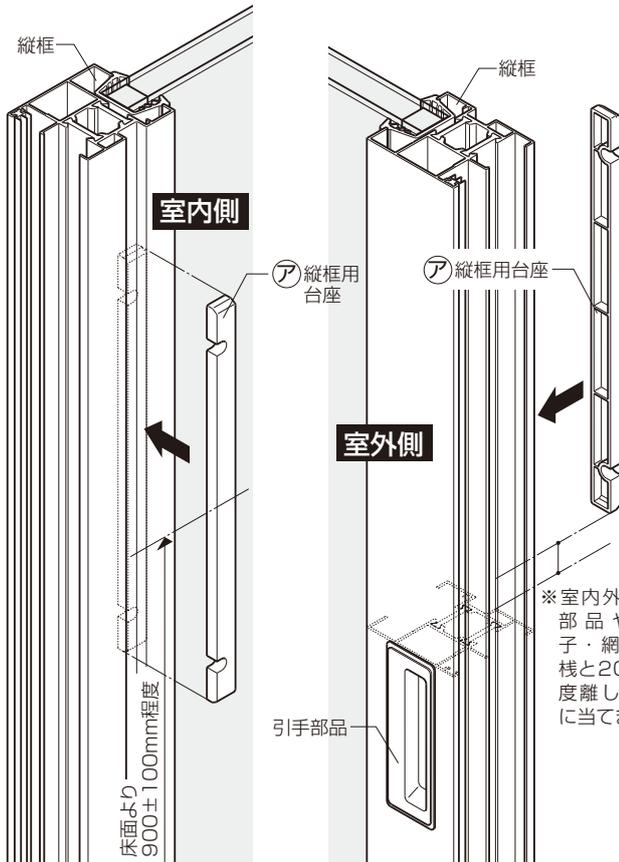
※高さ位置は、床面より縦框用台座中心まで900±100mm程度が目安です。

ただし、框の室内外面に引手部品が付いている場合や、障子・網戸に中棧が付いている場合、引手や中棧と縦框用台座が重ならない位置に張付けてください。

※部品のくぼみが戸先側になるようにして、ミゾに当ててください。

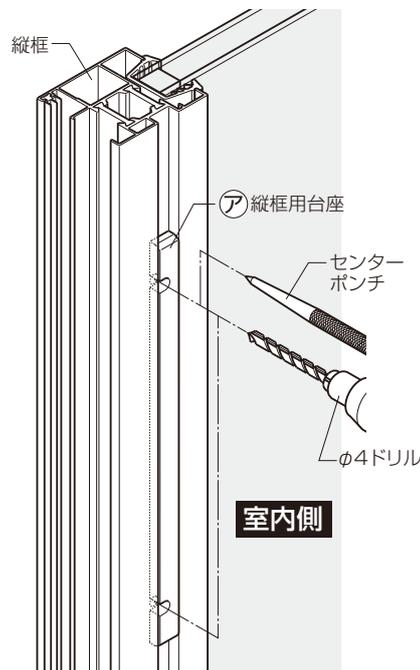
【室内側】

【引手部品・中棧がある場合／室外側】



※室内の引手部品や、障子・網戸の中棧と20mm程度離してミゾに当てます。

②縦框用台座の2箇所穴の位置中心に合わせてポンチを打ち、 $\phi 4$ のドリルで框に穴をあけて、框を室外側まで貫通させます。

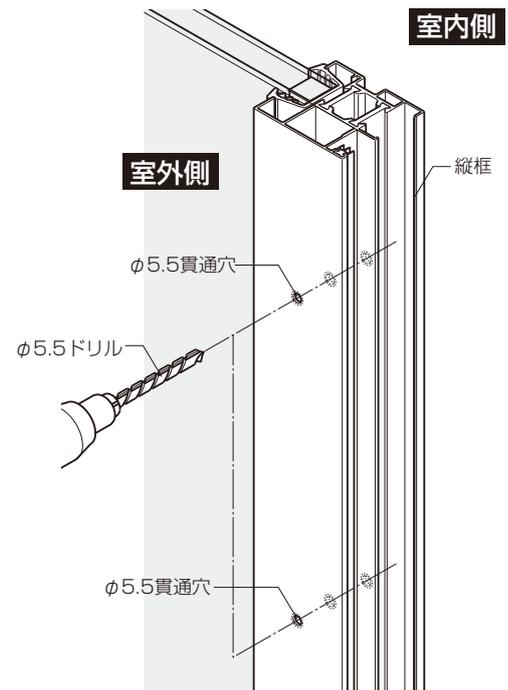


③框にあけた貫通穴を、室外側から $\phi 5.5$ のドリルで再度貫通穴をあけ直します。

お願い

※②の $\phi 4$ の穴あけをせずに $\phi 5.5$ で穴あけすると、アルミ型材内部の形状のためにドリルをまっすぐに穴あけすることができません。

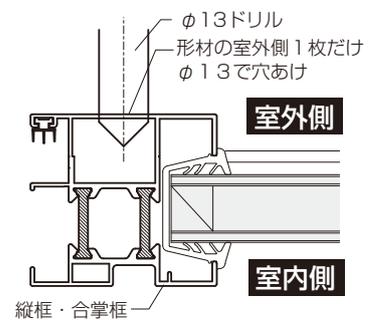
※室内側から穴をあけると、アルミ型材内部の形状のためにドリルをまっすぐに穴あけすることができません。



④②であけた穴の、室外面のアルミ型材一枚(穴あけ深さ2mm)だけ、 $\phi 13$ のドリルで穴を広げてください。

お願い

※ $\phi 13$ の穴あけは室外面のアルミ型材一枚だけとしてください。



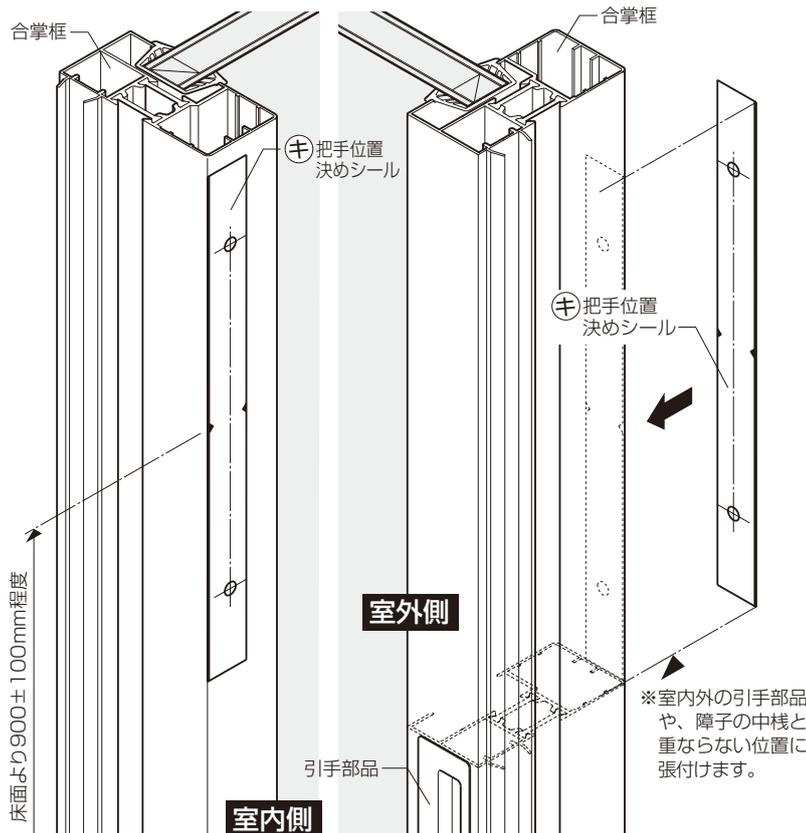
⑤室内面に張った位置決めシールをはがしてください。

■合掌框（4枚建てのみ）

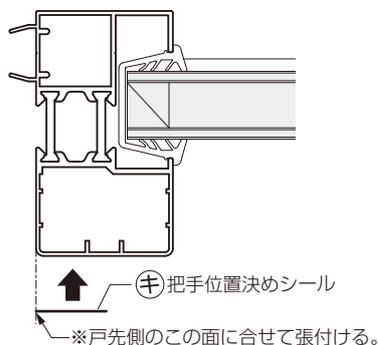
- ① 把手位置決めシールを、合掌框の室内面に下図のように張付けます。
 ※高さ位置は、床面より位置決めシール中心までの寸法を縦框と同じ寸法にします。ただし、框の室内外面に引手部品が付いている場合や、障子に中棧が付いている場合、引手や中棧と位置決めシールが重ならない位置に張付けてください。
 ※左右位置は、シールに印刷されているラインと障子を合わせて、すき間が出ないように張付けてください。（下図「■位置決めシール張付け位置」参照）

【室内側】

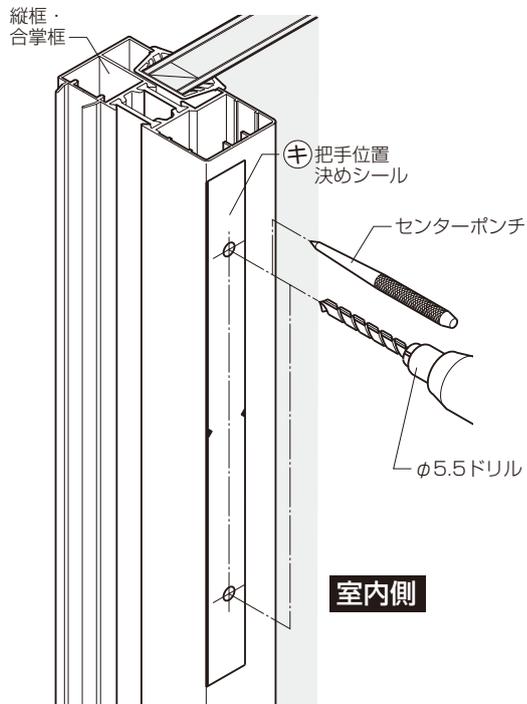
【引手部品・中棧がある場合／室外側】



■位置決めシール張付け基準位置

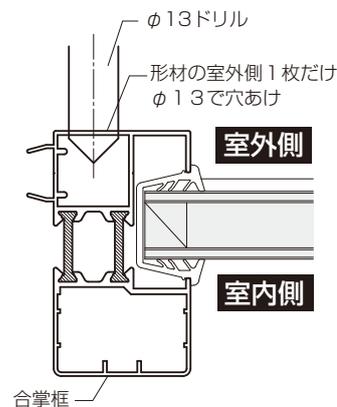


- ② 把手位置決めシールに印刷されている穴位置中心に合わせてポンチを打ち、框に室内側からφ5.5のドリルで穴をあけて、框を室外側まで貫通させます。



- ③ 室外面まで穴が貫通していることを確認します。
 ④ ②であけた穴の、室外面のアルミ形材一枚（穴あけ深さ2mm）だけ、φ13のドリルで穴を広げてください。

お願い
 ※φ13の穴あけは室外面のアルミ形材一枚だけとしてください。



- ⑤ 室内面に張った位置決めシールをはがしてください。

3 把手の取付け

● 把手を框に取付けます。

① 位置決めシールをはがしてあることを確認し、框の室内外面にあけた穴のバリを取ってください。

バリを残したまま把手を取付けると、框と把手用室外金具・把手との間にすき間ができてしまいます。

② 把手用室外金具が傾かないよう手で押さえて確認しながら、下記の通り把手を室内側に取付けます。

※ サーマルⅡ縦框・合掌框およびアトモスⅡ・サーマル合掌框は、把手台座を使用せずに直接把手を框に当てます。

お願い

※ ねじの締付けの最後は、手回しのドライバーで形材や部品が変形しない程度の強さで締めてください。

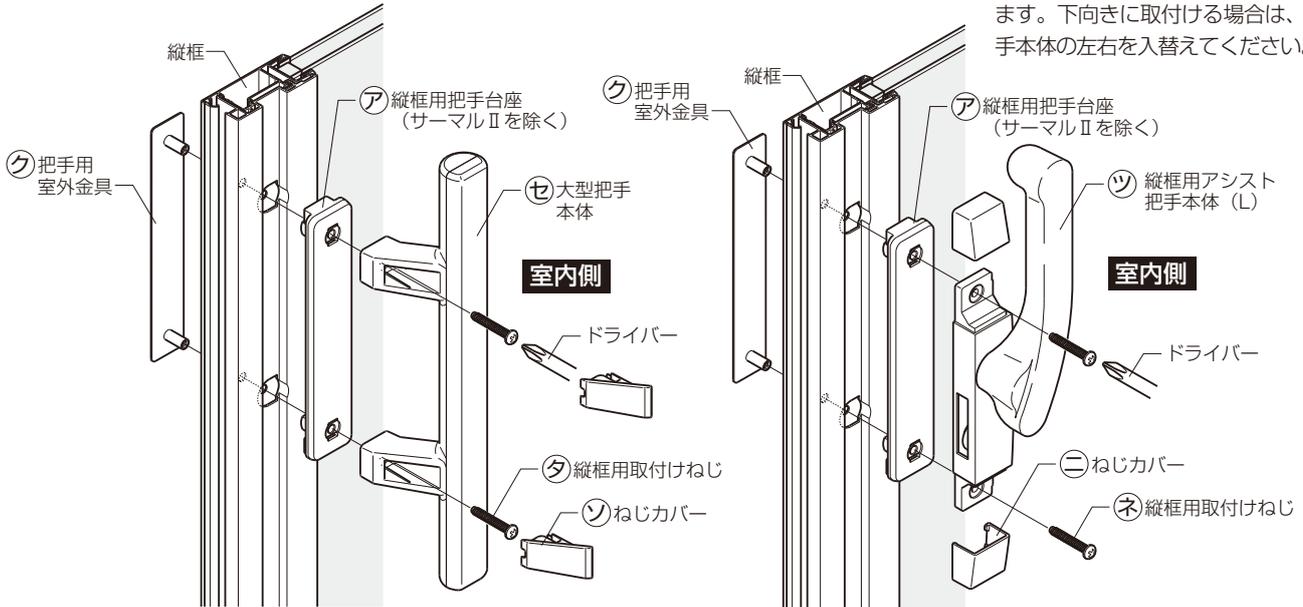
■ 外障子の場合

■ シンフォニーW/M、サーマルⅡ、シンフォニー、サーマル

【大型把手】

【アシスト把手】

● 把手レバーが上向きでは操作しづらい場合には、下向きにも取付けられます。下向きに取付ける場合は、把手本体の左右を入替えてください。

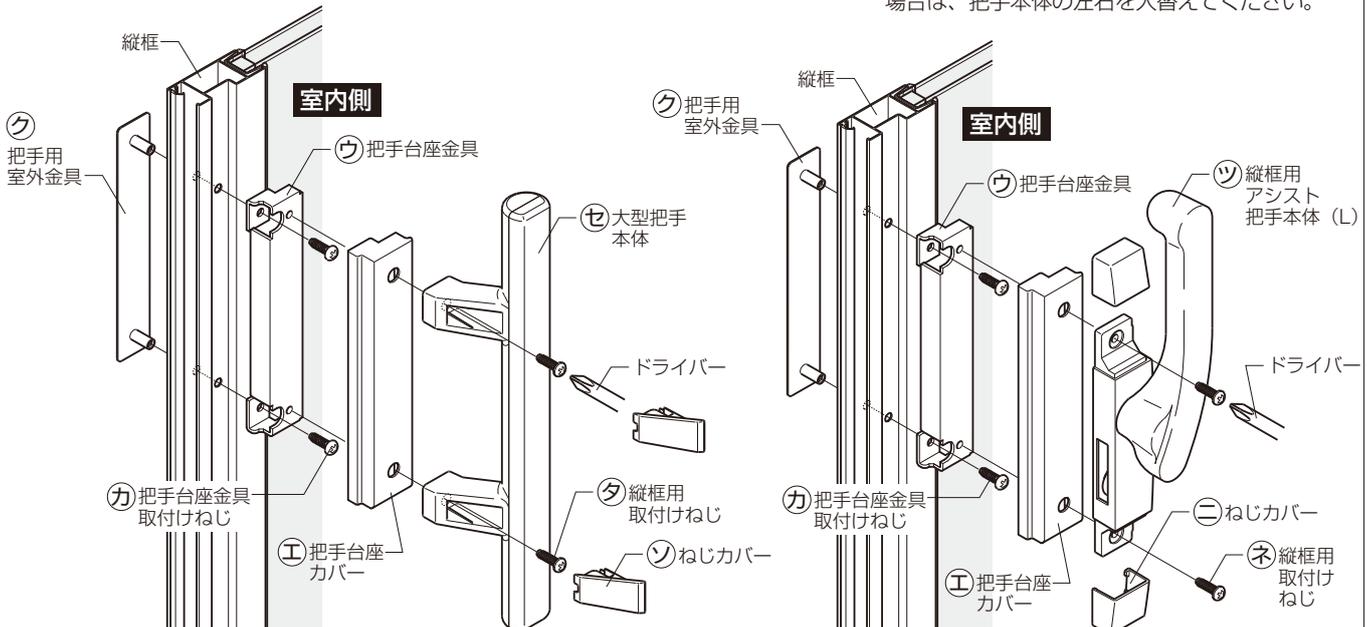


■ アトモスⅡ、デュオPG/SG

【大型把手】

【アシスト把手】

● 把手レバーが上向きでは操作しづらい場合には、下向きにも取付けられます。下向きに取付ける場合は、把手本体の左右を入替えてください。



※ 框にあけた穴に通したねじが、室外金具とどうしても合わない場合は、一回り大きいφ6~6.5のドリルで框にあけた穴をあけ直してください。

■内障子の場合

●外障子と同様に取付けてください。

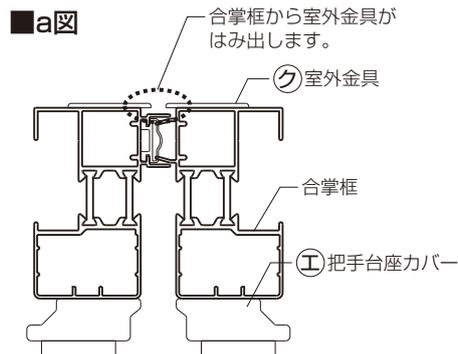
※部品は別紙（各商品に同梱）部品一覧表にしたいがい、まちがえのないように使用してください。

■4枚建／合掌框の場合

●外障子と同様に取付けてください。

※部品は別紙（各商品に同梱）部品一覧表にしたいがい、まちがえのないように使用してください。

※サマーの場合右図（a図）のように、合掌框の見込み面から室外金具がはみ出す仕様になります。



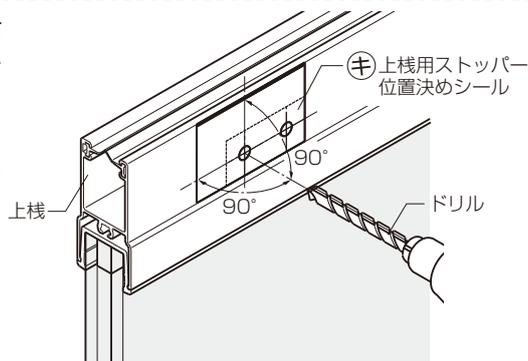
4 ストッパーの取付け位置決め・穴あけ

●ストッパー位置決めシールを上下棧に張付け、貫通穴をあけます。

※2枚建の場合、4枚建用ストッパー位置決めシールは使用しません。

お願い

※ドリルの刃を框に対して、上下方向・左右方向とも垂直にして穴をあけてください。把手・ストッパー・室外金具が取付けられなくなったり、傾いて取付けられてしまうおそれがあります。



①下棧用ストッパー位置決めシールの張付け

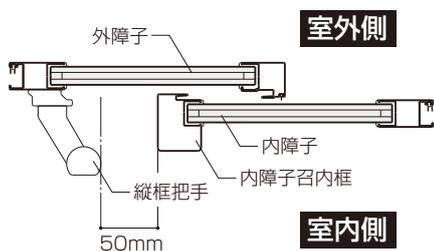
●下棧用ストッパー位置決めシールを、外障子下棧の室内面に下図のように張付けます。

※左右位置は、召内框と把手との間のすき間が、50mmになる位置まで内障子を開けて、召内框の見込み面に合せて張付けます。

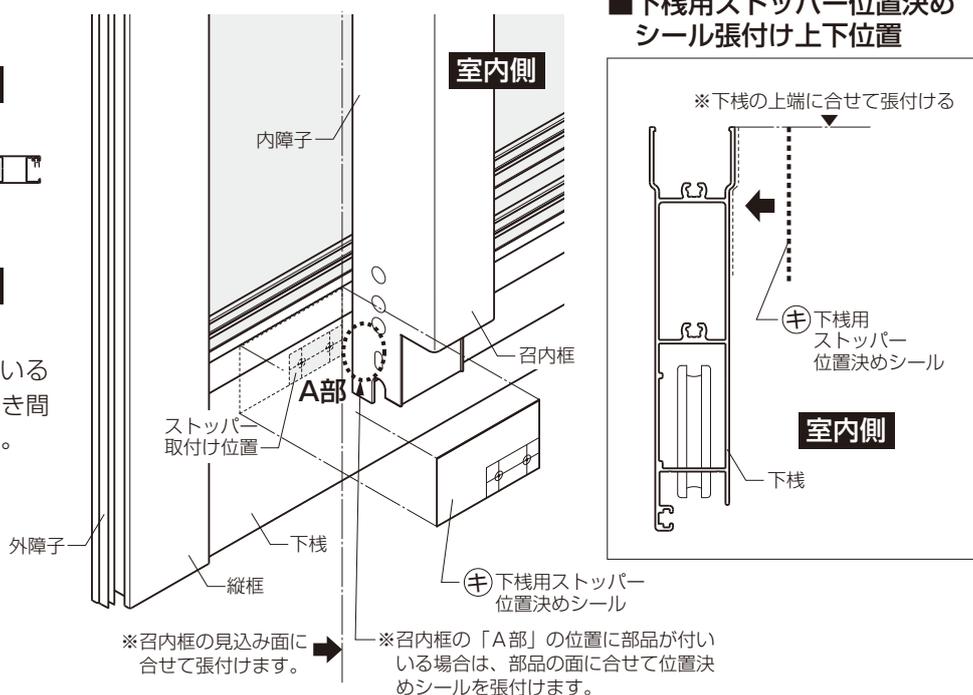
※ただし、シールの「ストッパー取付け位置」に、召内框の振れ止めなどの部品が付いている場合は、部品の面に合せて張付けてください。

※アトモスA T障子で、把手とクレセントの高さ位置が重なっている場合は、召合框と把手のすき間を70mmにしてください。

■左右位置詳細図



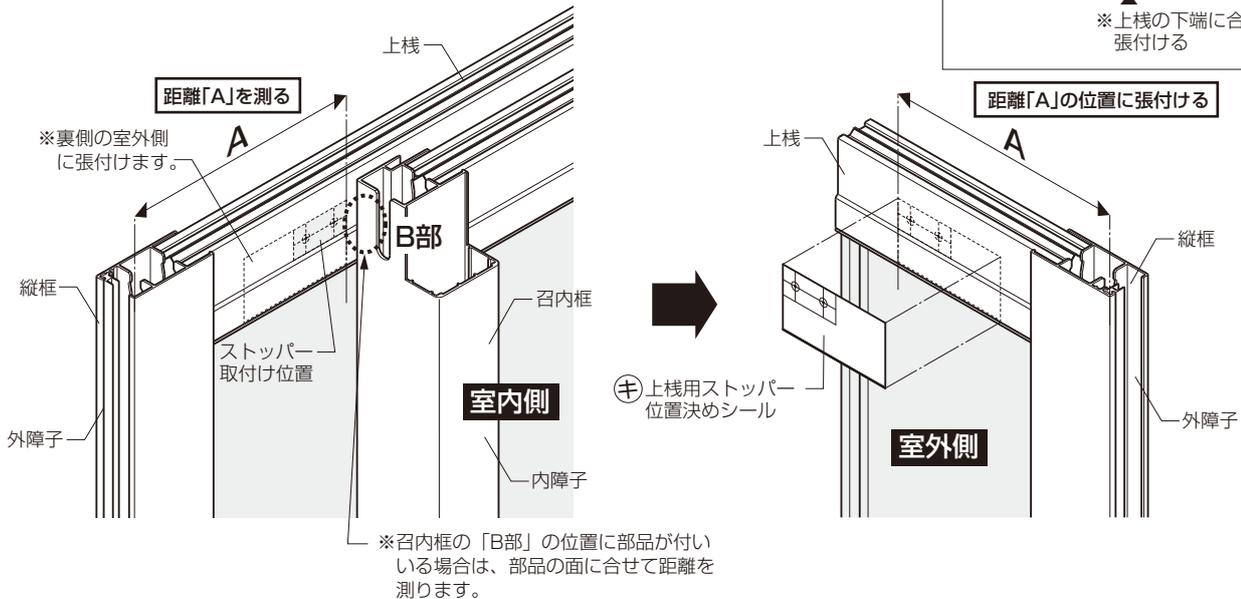
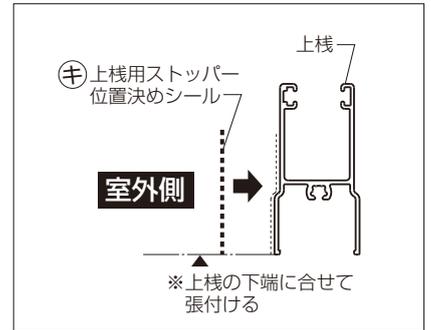
●高さ位置はシールに印刷されているラインと下棧の上面を合せて、すき間が出ないように張付けてください。



②上棧用ストッパー位置決めシールの張付け

- ①で開けた内障子の位置のまま、外障子の縦框戸先面から召内框までの距離を測り、上棧用ストッパー位置決めシールを、外障子上棧の室外面に下図のように張付けます。
- ※ただし、シールの「ストッパー取付け位置」の高さ位置に、召内框の振れ止めなどの部品が付いている場合は、戸先框戸先面から召内框の部品の面までの距離を測ってください。
- ※上棧用ストッパー位置決めシールは、障子の種類や上棧の見付け寸法により使用するシールが異なる場合があります。シールに記載されている区分にしたがい、まちがえないように使用してください。

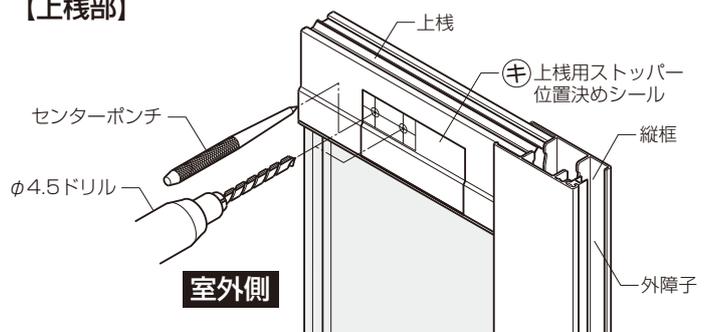
■上棧用ストッパー位置決めシール張付け上下位置



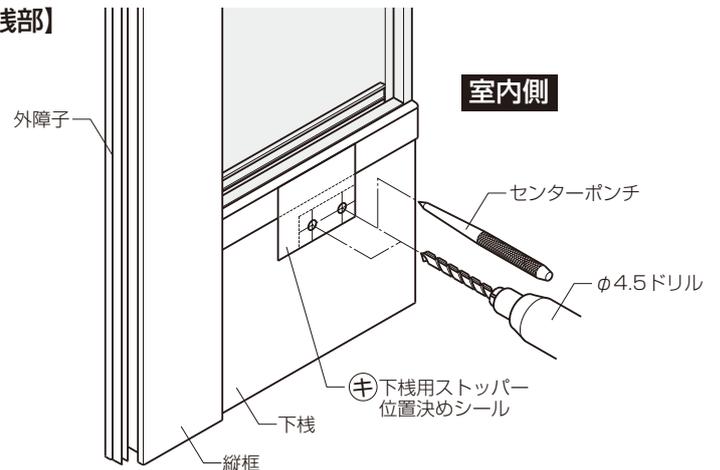
③ストッパー取付けの穴の穴あけ

- ①把手位置決めシールに印刷されている穴位置中心に合わせてポンチを打ち、上下棧に $\phi 4.5$ のドリルで貫通穴をあけます。
- ※アトモスⅡNT障子は、アルミ形材内部の形状のために、ドリルの刃が上にずれやすいので、ずれないように注意して穴あけしてください。
- ②①であけた穴の、室外面のアルミ形材一枚（穴あけ深さ2mm）だけ、 $\phi 10$ のドリルで穴を広げてください。
- ③室内外面に張った位置決めシールをはがしてください。

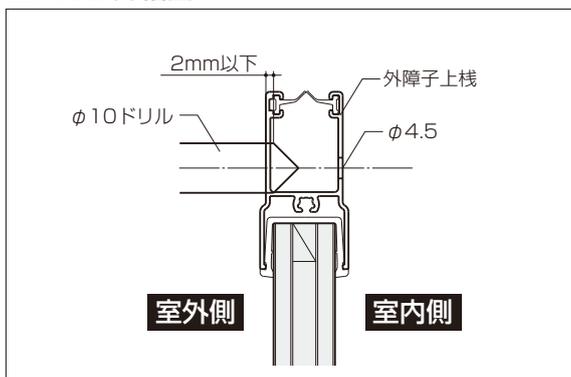
【上棧部】



【下棧部】



■穴あけ詳細図



5 ストッパーの取付け

●ストッパーを上下棧に取付けます。

▲注意

●ストッパーは必ず取付けてください。把手と召内框やクレセントに手を挟んでケガをするおそれがあります。

お願い

※ねじの締付けの最後は、手回しのドライバーで形材や部品が変形しない程度の強さで締めてください。

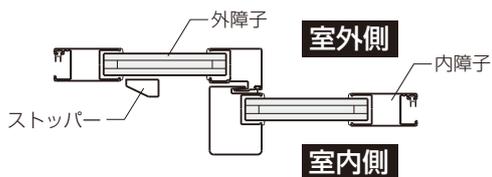
①位置決めシールをはがしてあることを確認し、框の室内外面にあけた穴のバリを取ってください。バリを残したままストッパーを取付けると、框とストッパー用室外金具・ストッパーとの間にすき間ができてしまいます。

②ストッパー用室外金具が傾かないよう手で押さえて確認しながら、右図のように室内側にストッパーを取付けます。

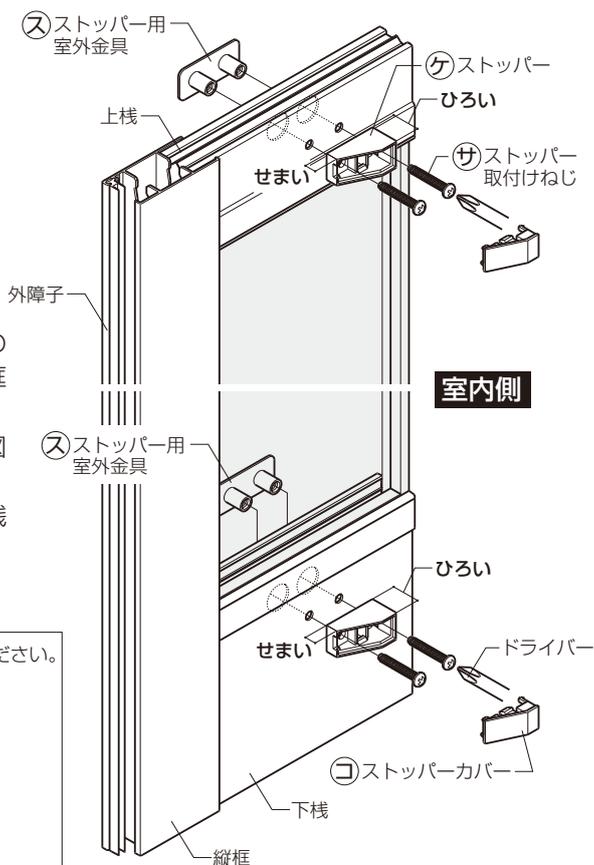
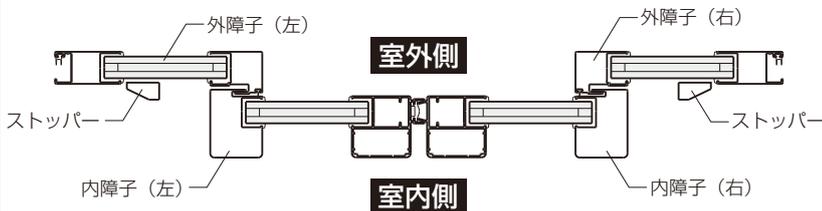
※室外側に穴あけしたφ10の穴が小さく、ストッパー用室外金具が上下棧にうまくはまらない場合は、φ11~13のドリルで穴を広げてください。

■ストッパー取付け位置

●2枚建



●4枚建

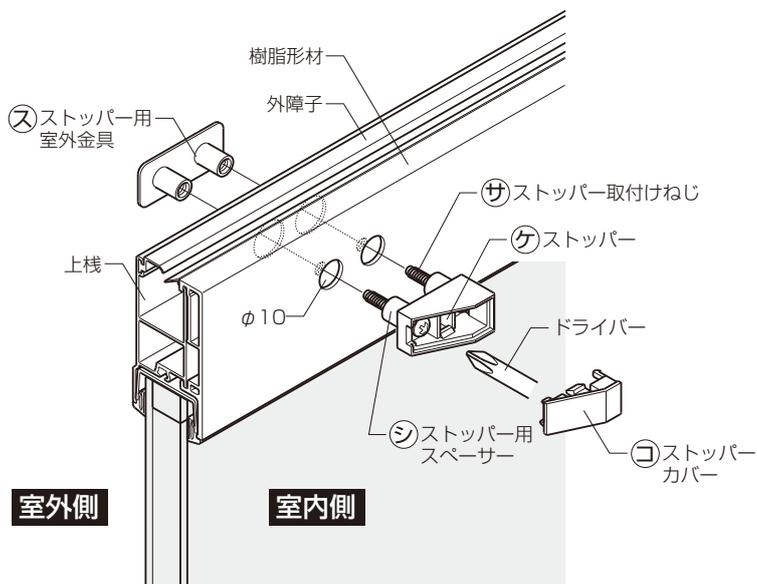


【シンフォニーW/M、シンフォニーの場合】

①室内側の樹脂形材1枚だけφ10のドリルで、2つの穴を広げてください。

②ストッパーと取付けねじを上下棧に差込む際、ねじにストッパー用スペーサーをはめてから差込んでください。

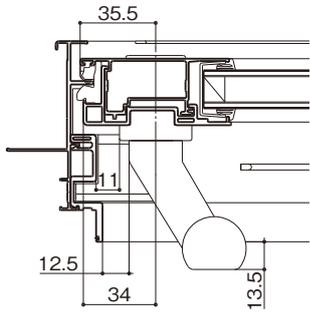
※シンフォニーは上下棧でスペーサーの高さが異なります。低い方(5mm)を上棧、高い方(10mm)を下棧に使用します。



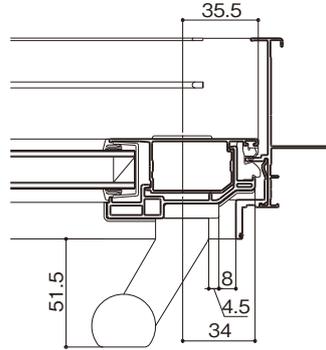
参考納まり図

シンフォニーW/M(大型把手)

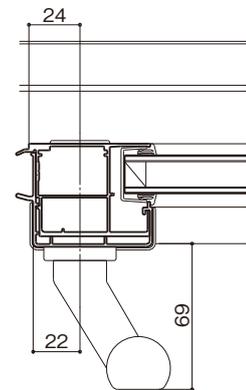
【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



【2枚建右縦枠部】

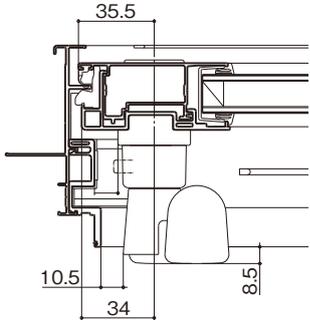


【4枚建右合掌框部】

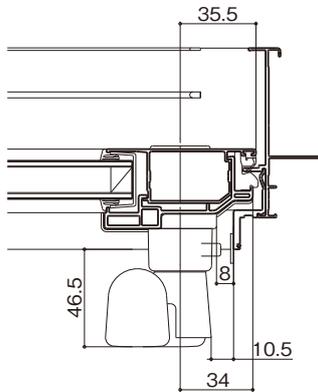


シンフォニーW/M(アシスト把手)

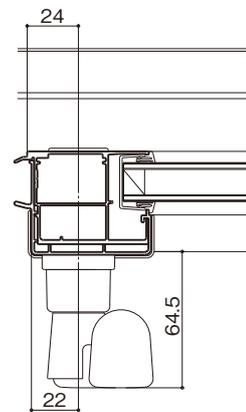
【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



【2枚建右縦枠部】

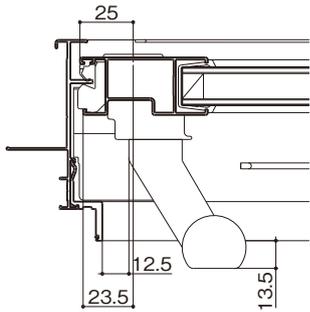


【4枚建右合掌框部】

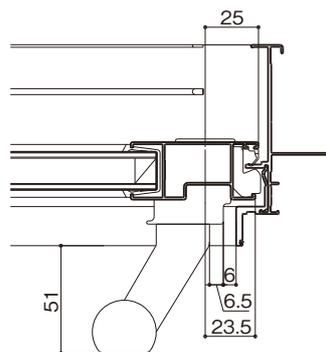


デュオPG(大型把手)

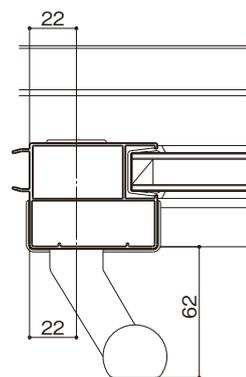
【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



【2枚建右縦枠部】

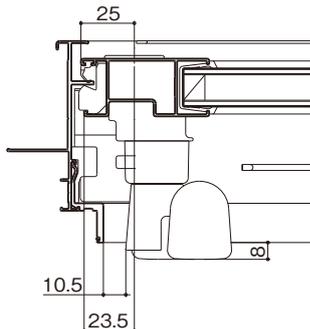


【4枚建右合掌框部】

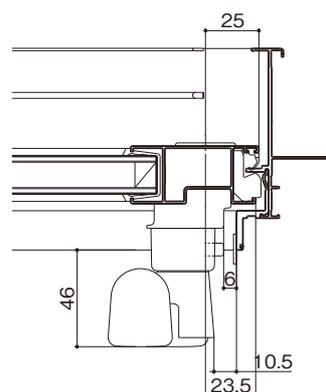


デュオPG(アシスト把手)

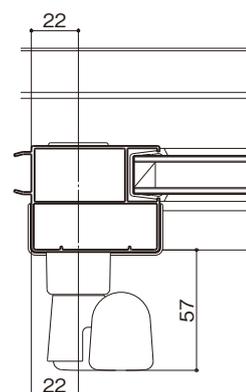
【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



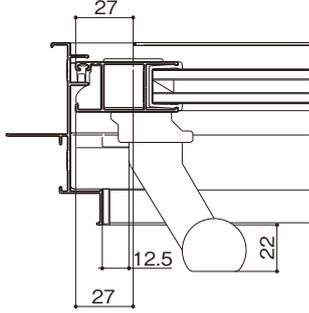
【2枚建右縦枠部】



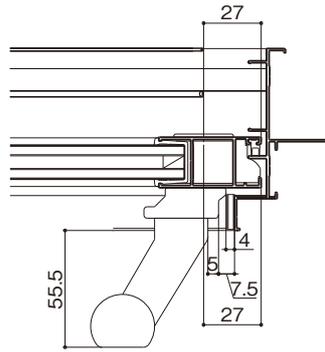
【4枚建右合掌框部】



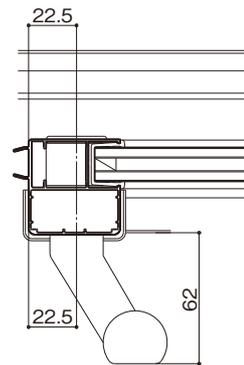
■アトモスII PG障子(大型把手)
 【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



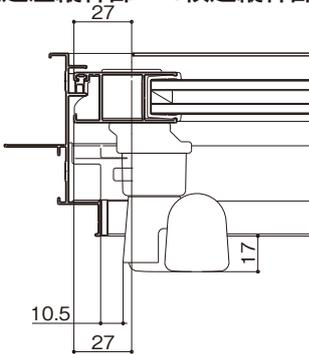
【2枚建右縦枠部】



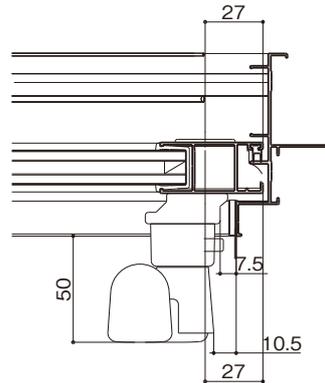
【4枚建右合掌框部】



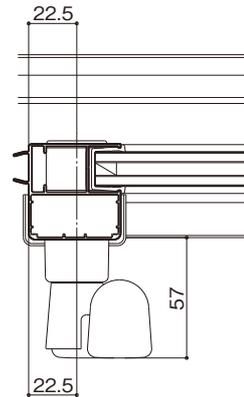
■アトモスII PG障子(アシスト把手)
 【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



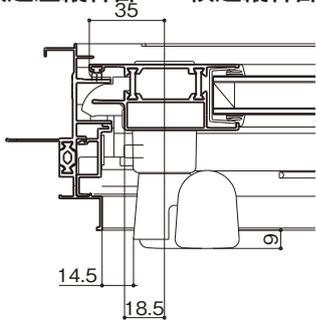
【2枚建縦枠部】



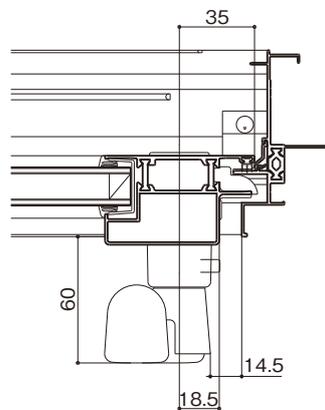
【4枚建右合掌框部】



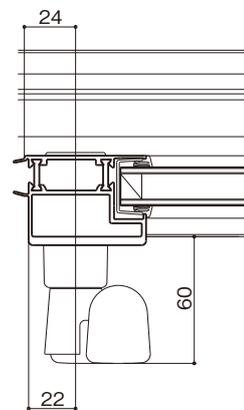
■サーマルII(アシスト把手)
 【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



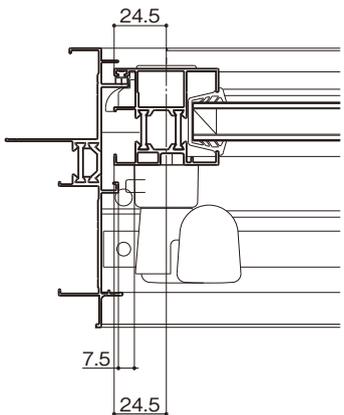
【2枚建右縦枠部】



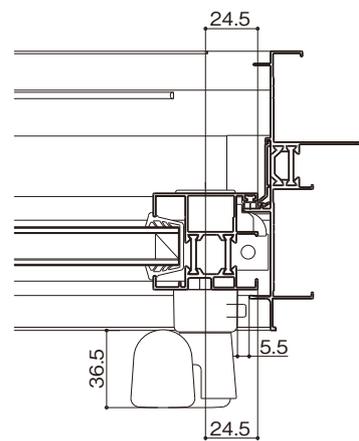
【4枚建右合掌框部】



■サーマル(アシスト把手)
 【2枚建左縦枠部・4枚建縦枠部】



【2枚建右縦枠部】



【4枚建右合掌框部】

